
日本経済展望

2016年5月

 株式会社 **日本総合研究所**

調査部 マクロ経済研究センター

<http://www.jri.co.jp/report/medium/publication/japan>

目次

◆現状	p. 1
◆景気分析	p. 3
◆見通し	
経済	p. 7
物価、金融政策、金利	p. 8
◆内外市場データ	p. 9

調査部 マクロ経済研究センター（国内経済グループ）

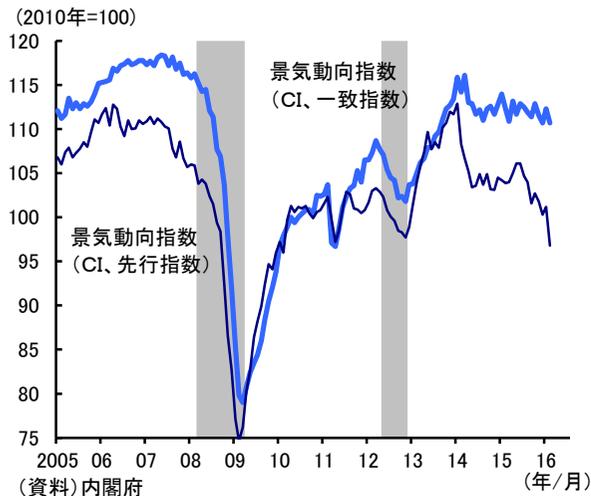
●総括	下田 裕介	(Tel: 03-6833-0914	Mail: shimoda.yusuke@jri.co.jp)
●家計部門、雇用賃金	小方 尚子	(Tel: 03-6833-0478	Mail: ogata.naoko@jri.co.jp)
●ファンダメンタルズ	村瀬 拓人	(Tel: 03-6833-6096	Mail: murase.takuto@jri.co.jp)
●企業部門、外需	菊地 秀朗	(Tel: 03-6833-6228	Mail: kikuchi.hideaki@jri.co.jp)
●ファンダメンタルズ（現状分析）	伊藤 綾香	(Tel: 03-6833-6967	Mail: ito.tp24777@jri.co.jp)

◆本資料は2016年5月2日時点で利用可能な情報をもとに作成しています。

概況：個人消費の伸び悩みなど、足踏みが長期化

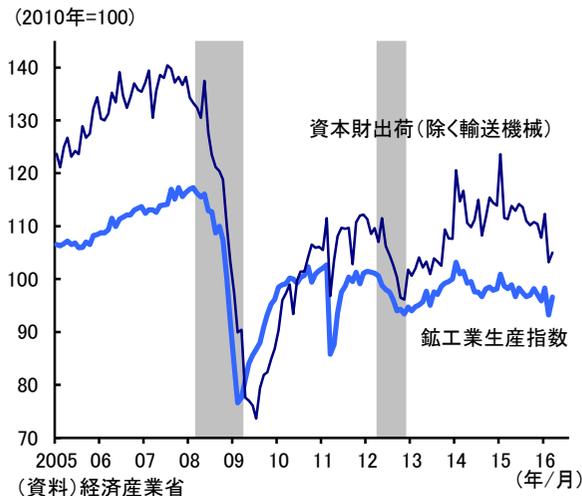
景気

機械受注の減少や在庫の増加を受け、先行指数は2010年2月以来の低水準に



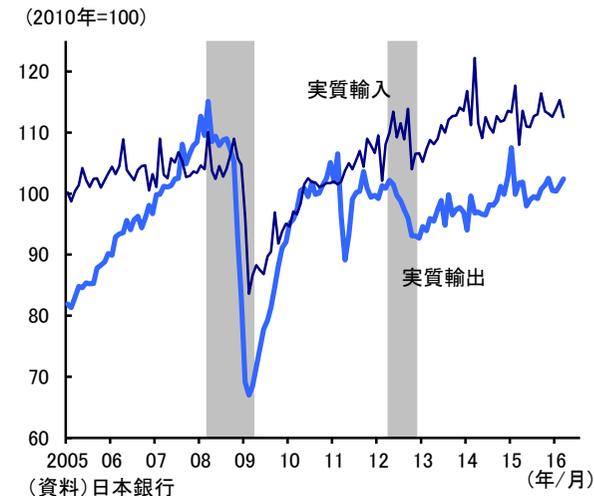
企業

生産指数は前月の反動により上昇するも総じて一進一退で推移



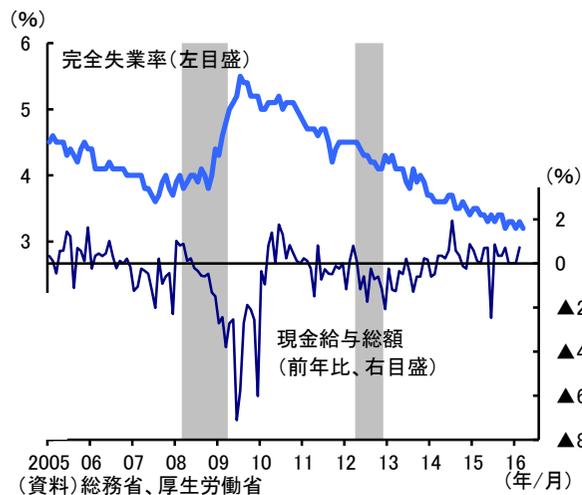
外需

輸出は先進国向けで緩やかに持ち直し 輸入は3ヵ月ぶりに減少



雇用所得

失業率は低水準で推移 名目賃金は4ヵ月ぶりに前年比プラス



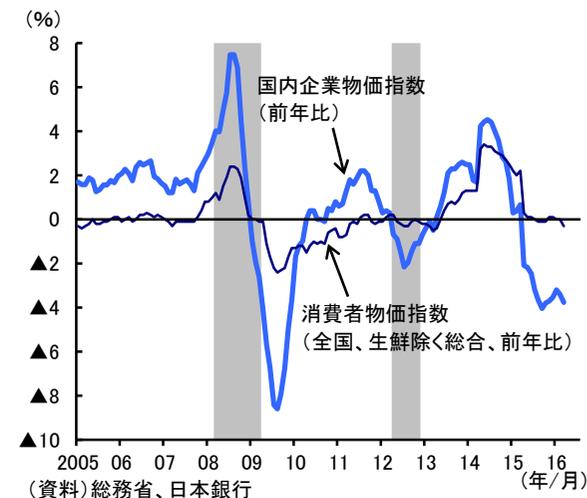
家計

消費はやや持ち直すも力強さを欠く状況 住宅着工は3ヵ月連続の増加



物価

物価は原油価格下落が大きく下押し、国内企業物価、消費者物価ともに前年割れ



※シャドー一部は景気後退期

家計・企業で足踏みが続く一方、輸出は緩やかに持ち直し

現状

景気分析

見通し

◆不安定な株価・為替によりマインド悪化

3月の景気ウォッチャー調査は、現状判断DIが家計動向関連・企業動向関連ともに上昇したものの、横ばいを示す50を8ヵ月連続で下回る状況。株価・為替の不安定な動きを背景に、企業の景況感や消費者マインドは低迷が持続。今後、熊本地震の影響も下押しに作用する恐れ。

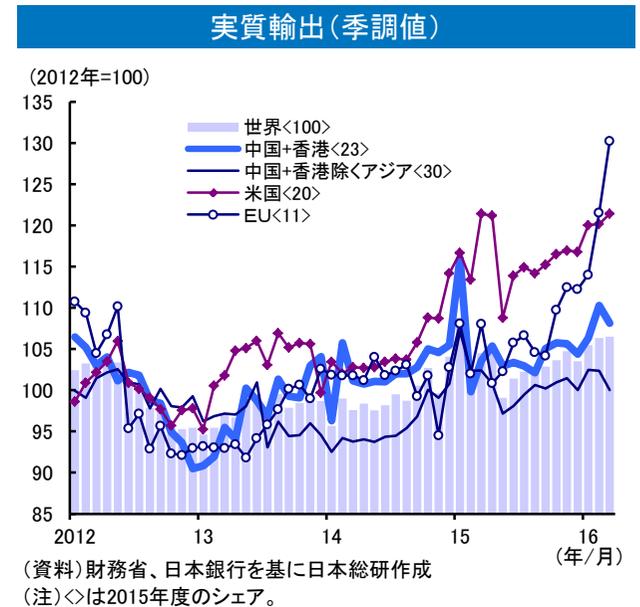
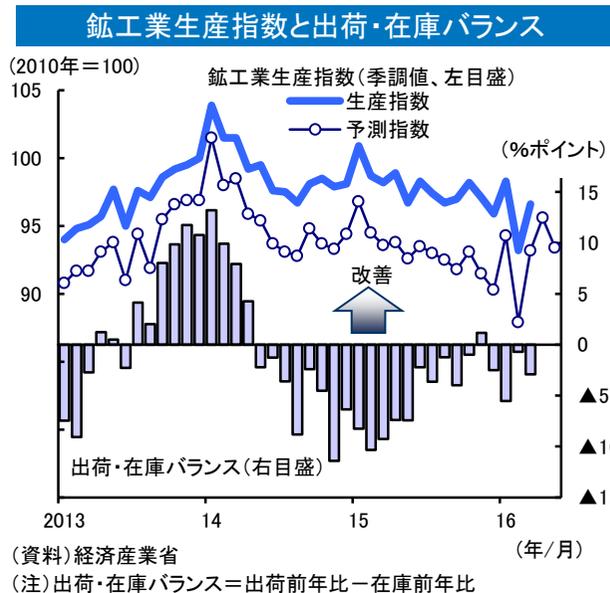
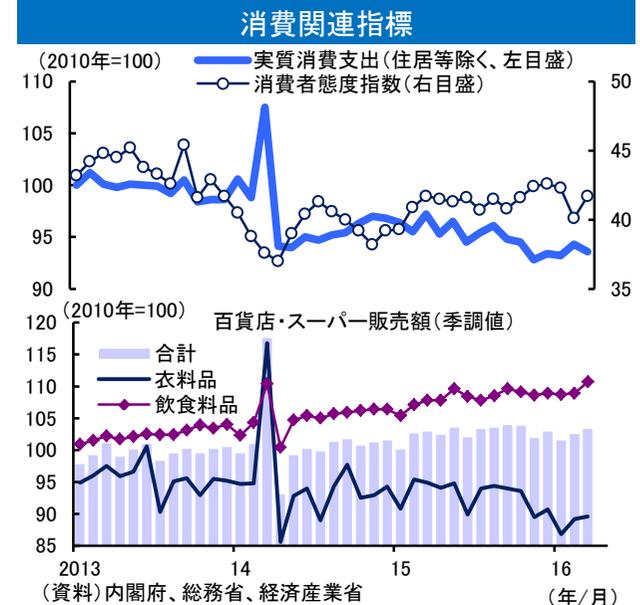
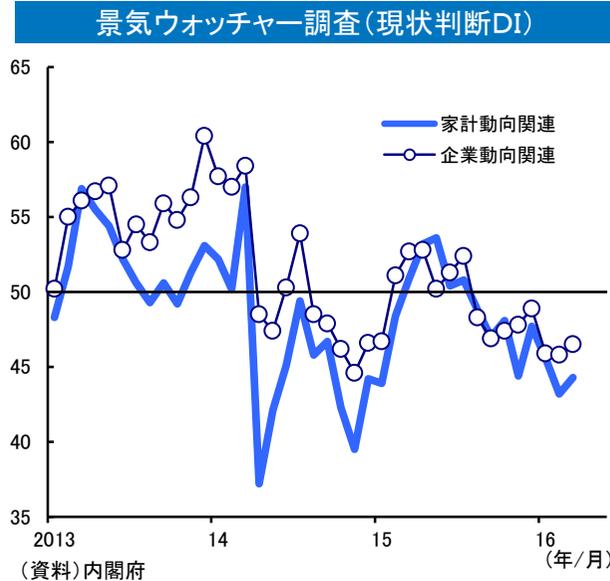
◆家計・企業ともに停滞感

実体経済も足踏みが長期化。家計部門では、勤労者世帯の実収入が7ヵ月ぶりに増加したものの、消費者マインドの改善が限られるなか、実質消費支出は2ヵ月ぶりに減少。全国的に気温の変動が激しかったことなどから季節商品の販売がふるわず。

企業部門では、3月の鉱工業生産が前月に大幅に低下した輸送機械をはじめ、幅広い業種で上昇。予測指数によると、4月は増産が続くなど春にかけてやや持ち直す見込み。もっとも、熊本地震の影響は反映されておらず、今後、実績・計画が下振れる可能性。

◆輸出は緩やかに持ち直し

一方、外需では、実質輸出が緩やかに持ち直し。アジアを中心に伸び悩みが続くものの、米国やEUなど先進国向けが下支え。



円高により、収益・設備投資の下振れリスクが増大

◆企業収益は高水準にあるものの、先行き、円高による減益リスクが増大

企業部門では、日銀短観（3月調査）における2016年度の経常利益計画（全規模・全産業）が、前年度比減益となったものの、例年上方修正される傾向を勘案すれば、小幅増益が期待。一方、足許、企業の想定（117円）を上回る円高が進行しており、円相場次第では収益下振れのリスクも。

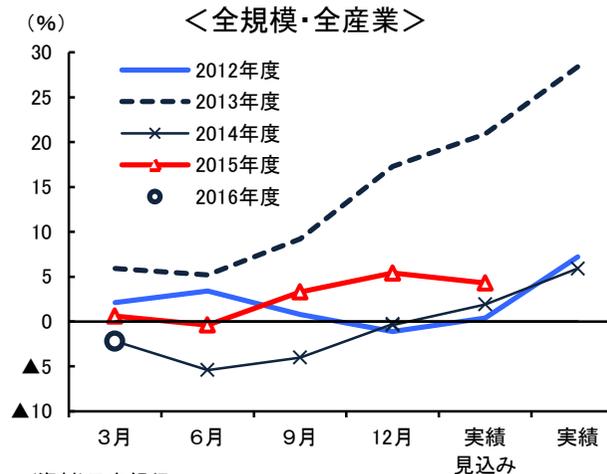
そこで、円高が企業収益に与える影響をマクロモデルシミュレーションを基に試算すると、1ドル=110円で推移した場合、2016年度の経常利益は、前年度比ほぼ横ばい。105円で定着した場合、同▲1.5%程度の減益に。円高が重石となるなか、2016年度は経常利益の頭打ち感が強まる可能性。

◆減益が設備投資の下振れリスクも、維持・更新投資が一定の下支え

設備投資についてみると、海外経済の先行き不透明感の強まりや、金融市場の混乱を受けた企業の投資慎重化を背景に、力強さを欠く状況。

こうしたなか、収益の下振れが、先行き設備投資を下押しする可能性も。とりわけ、企業の成長期待の低下などを通じ、能力増強投資が下振れするリスク。一方、設備の老朽化などを背景に、収益動向に依存せず、維持・更新投資を進める企業も多く、これが一定程度下支えとして作用する期待。低金利や合理化・省力化に対するニーズの高まり等も勘案すれば、設備投資の大幅な減少は回避の見通し。

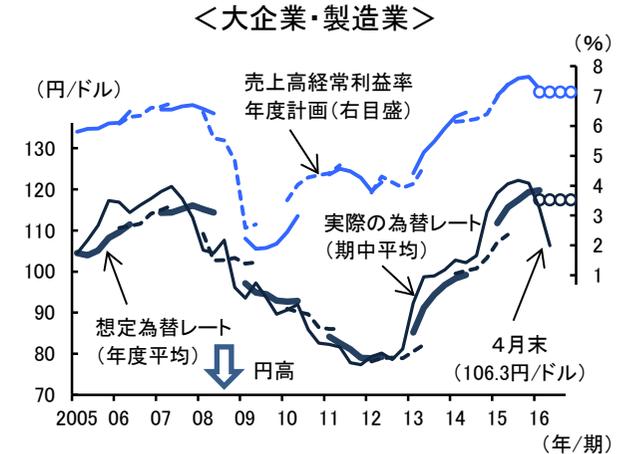
経常利益計画の足取り



(資料)日本銀行

(注)2014年12月調査は調査対象企業の見直しにより、新ベースと旧ベースのデータを併記。

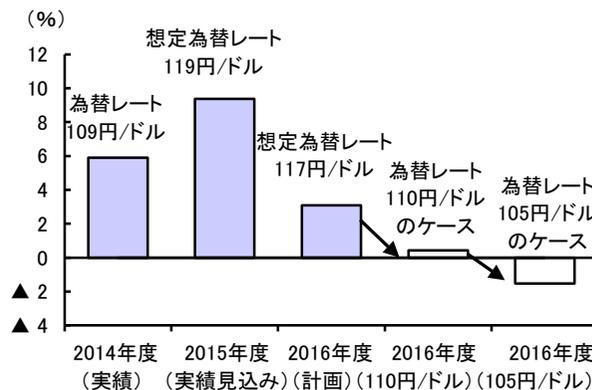
売上高経常利益率計画と想定為替レート



(資料)日本銀行

(注)売上高経常利益率年度計画と想定為替レートは、3月調査→6月調査→9月調査→12月調査→実績見込み→実績の順に各年度をプロット。○は16年3月の16年度計画を通常で図示。

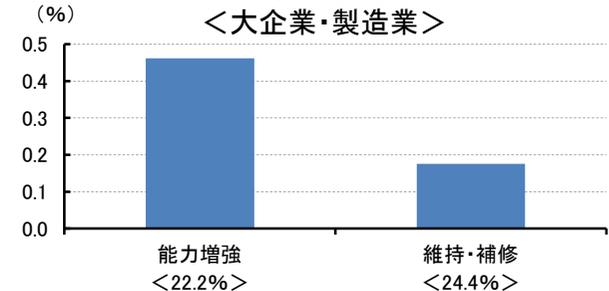
日銀短観・経常利益計画(3月調査・前年度比)



(資料)日本銀行などを基に日本総研作成

(注1)2015年度(実績見込み)、2016年度(計画)は、2014年度(実績)との比較を可能にするため、過去の修正パターンを基に調整。
(注2)2016年度(110円/ドル)、2016年度(105円/ドル)は、マクロモデルにおける円高の影響などを基に試算。

経常利益1%の増加が設備投資に与える影響



(資料)財務省、日本政策投資銀行を基に日本総研作成

(注1)日本政策投資銀行「全国設備投資計画調査(大企業)」の大企業製造業に対する設備投資動機アンケートを基に、目的別の設備投資額の時系列の推移を試算。
(注2)経常利益(前年比、1期先行)と、目的別設備投資額(前年比)の弾性値を試算。前年の経常利益が1%増加した場合、当年の目的別設備投資を何%増加させるかを示す。
(注3)推計期間は2000~2014年。
(注4)それぞれ統計的に1%水準で有意。
(注5)＜内は、2015年度計画における投資全体に占めるシェア。

雇用は増加も低賃金分野への偏在が重石となる面も

◆耐久財消費の反動減や根強いインフレ予想を背景に個人消費に停滞感

家計部門では、個人消費に停滞感。近年の購入支援策や消費増税前の駆け込み需要の反動減により、耐久財消費の低迷が持続。1～3月の実質世帯消費もうるう年に伴う日数増による押し上げ効果(+0.9%)にもかかわらず、前年比マイナス(▲2.1%)。

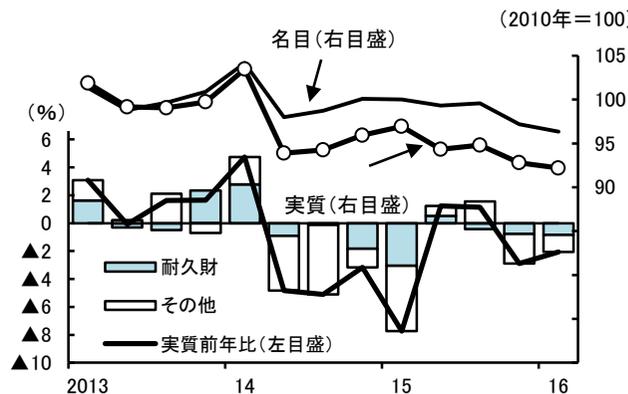
物価上昇への根強い警戒感も消費を下押し。消費者物価(生鮮除く総合)は、石油関連製品の値下がりにより、2015年春以降、前年比ゼロ近辺で推移しているものの、購入頻度が高く消費者の物価の実感に近い食料は、名目賃金を上回る上昇が持続。

◆引き続き緩慢な消費回復

雇用所得環境をみると、足許で景気下振れ懸念が高まっているものの、本年春闘では、一定の賃上げが実現される見通し。加えて、円安の一巡・円高への揺り戻しが、食料価格の上昇一服を通じ、消費者マインドを下支えすることから、2016年度にかけて個人消費は底堅さを増していく見通し。

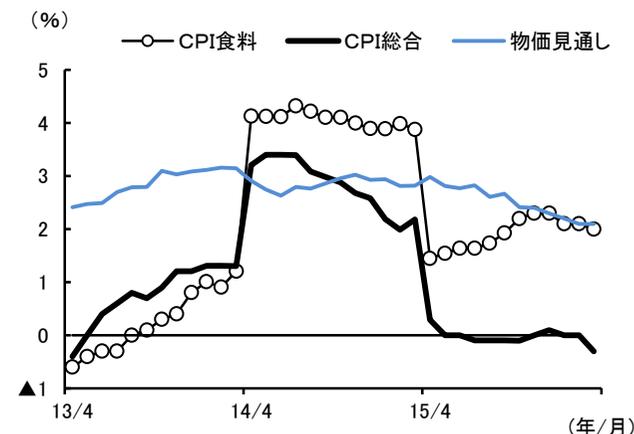
もっとも、雇用増加は、非正規の高齢者と女性、業種別では非製造業と、相対的に賃金水準が低い層に偏在。このため、所得ならびに消費回復のペースは引き続き緩やかなものにとどまる見込み。こうしたなか、2017年度には、消費増税が予定通り実施されれば実質所得減少を受けて個人消費はマイナスに。

世帯当たり消費支出



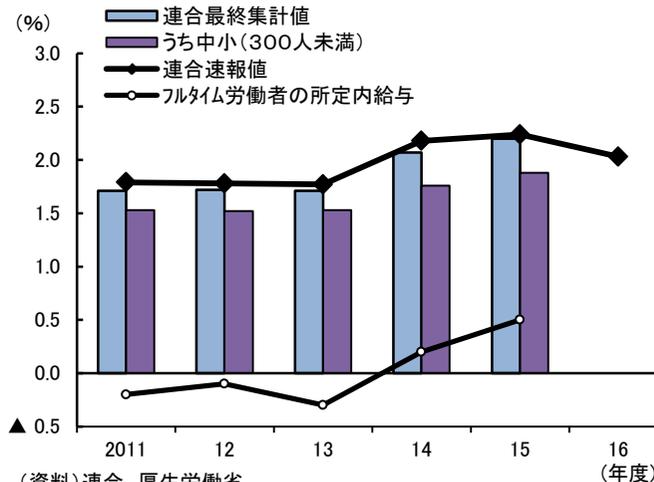
(資料)総務省
(注1)財別実質前年比は、消費者物価で実質化。
(注2)二人以上の世帯。
(注3)2016年1～3月期は1～2月。(年/期)

消費者物価(CPI)と物価の見通し(前年比)



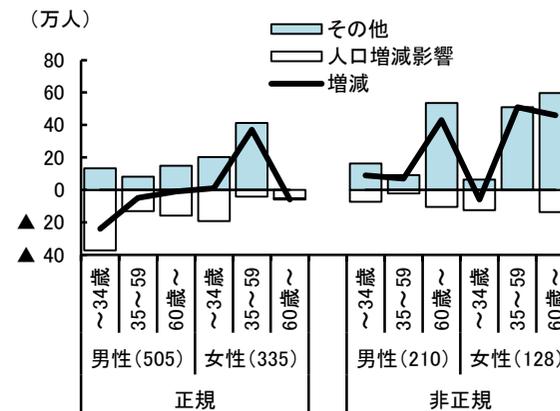
(資料)内閣府、総務省
(注1)物価は生鮮除く。
(注2)物価見通しは「消費動向調査」一般世帯回答からの試算。(年/月)

春闘賃上げ率と所定内給与(前年比)



(資料)連合、厚生労働省
(注1)2015年度の所定内給与は2015年4月～2016年2月。
(注2)賃上げ率速報値は2016/4/29の第4回集計と過去の同時期集計。(年度)

雇用変動の内訳(2013年1月～2016年3月)



(資料)総務省「労働力調査」
(注)人口増減影響は、5歳刻みのデータから試算。()内は年収分布から試算した年収中位値(2015年、万円)。(万人)

政策面では補正予算の執行が2016年度の景気を下支え

◆補正予算が2016年度の景気を下支え

政策面についてみると、1月20日に成立した2015年度補正予算が、先行き景気の下支えに作用。洪水被害からの復旧やTPP対策としての農地・水路の整備など、公共投資を中心にGDPを+0.3~0.4%ポイント押し上げると想定。

◆予定される消費税率10%への引き上げと軽減税率も景気変動要因に

現状2017年4月に予定される消費税率10%への引き上げ、および軽減税率の適用も景気変動要因に。消費増税については、今回は駆け込み需要の規模が前回対比小さくなると予想。前回同様、家電や自動車など耐久財が駆け込みの中心になるとみられるものの、これらの使用年数を踏まえると、前回引き上げ時に駆け込みが増大した商品については、今回駆け込み需要は限られる見込み。

以上を踏まえ、消費関数などから消費増税の影響を試算すると、駆け込み需要が2016年度の個人消費を+0.7%ポイント押し上げる一方、17年度は反動減と物価上昇に伴う実質購買力低下により▲1.6%ポイント下振れる見込み。

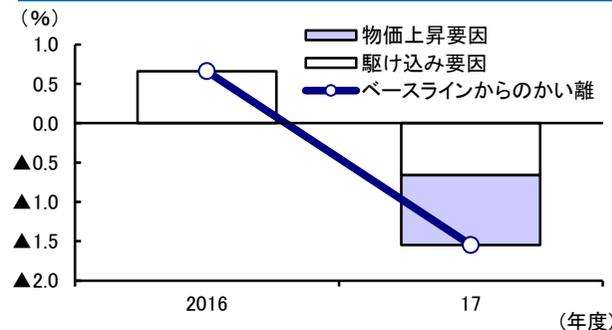
一方で、酒・外食を除く食品を中心に適用が決定された軽減税率により、2017年度の個人消費の下振れは▲0.2%ポイント緩和される見込み（2017年度の下振れは▲1.4%）。

2015年度補正予算の概要

2015年度補正予算の概要		(兆円)
一億総活躍(a)		
低所得高齢者への臨時給付金		0.4
「希望出生率1.8」「介護離職ゼロ」に直結する施策		0.4
TPP対策(b)		
農林水産業の競争力強化		
災害復旧、防災・減災事業(c)		
震災復興の加速化(d)		0.5
その他の喫緊の課題への対応(e)		
軽減税率対策		
テロ対策など		
その他の経費(f)		
小計(g)=(a+b+c+d+e+f)		3.5
地方交付税交付金(h)		1.3
既定経費の減額(i)		▲1.4
合計(g+h+i)		3.3

(資料)財務省、各種報道などを基に日本総研作成

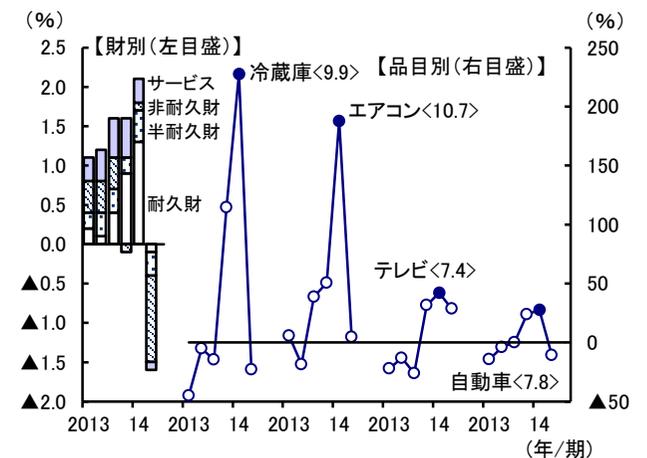
消費増税に伴う個人消費への影響(試算)



(資料)内閣府、日本銀行、総務省などを基に日本総研作成

(注)駆け込み要因は前回消費増税直前の個人消費について、実質雇用者報酬、実質純金融資産、高齢化率などを説明変数とした消費関数から得られる理論値とのかい離を基に試算。耐久消費財を中心に駆け込み需要が見込まれる一方、前回増税時からそれほど時間が経過していないことも考慮し、駆け込み規模を前回の5割程度と想定。物価上昇要因はマクロモデルシミュレーションにより試算。

前回消費増税前後の消費動向(前年比)



(資料)内閣府、総務省、日本自動車販売協会連合会などを基に日本総研作成

(注)品目別の●は増税直前(14年Q1)。<>は平均使用年数。

軽減税率による2017年度への主な影響(試算)

減税対象	税収増 (兆円)	消費への影響 (%ポイント)	物価上昇 (%ポイント)
ケース1:なし	+4.9	▲0.9	+1.3
ケース2:生鮮食品	+4.6	▲0.8	+1.3
ケース3:酒・外食 除く食品	+3.9	▲0.7	+1.0

(資料)財務省、政府税制調査会、総務省などを基に日本総研作成

(注1)消費への影響は、ケース1は物価上昇による実質購買力の低下を通じた影響。ケース2および3は、軽減税率適用に伴う税収減を、家計の「減税」とみなして試算。

(注2)物価上昇は、コアCPIの前年比に対する押し上げ幅。

金融市場の混乱から当面足踏み、その後も回復は緩やかに

現状

景気分析

見通し

◆年明け以降の円高・株安や、在庫調整圧力の残存が当面の重石に

わが国経済は足踏みが長期化。当面は年明け以降の円高・株安が、企業・家計の景況感や企業収益の下押しに作用するとみられるほか、在庫調整圧力も依然として根強いことから、力強さを欠く状況が続く見込み。熊本地震を受けた生産へのマイナス影響や、消費・観光需要の減少も一時的に景気下押しに作用。

もともと、これらマイナス影響が一巡すれば、高水準にある企業収益が、設備投資や所得雇用環境の拡大へ波及するメカニズムを通じ、景気は徐々に底堅さを取り戻していく見通し。

2016年度は、2015年度補正予算の執行など政策面も景気を下支えする見込み。一方、2017年度は、消費増税が予定通り実施されれば、反動減から年度前半は民間需要が大幅に落ち込むことに。その後景気は再び回復軌道へ復帰するとみられるものの、物価上昇による実質購買力低下などから緩慢なペースにとどまる見込み。

わが国主要経済指標の予測値(2016年5月2日時点)

	2015年		2016年				2017年				2018年	(四半期は前期比年率、%、%ポイント)			
	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
	(実績)		(予測)				(予測)				(実績)	(予測)	(実績)	(予測)	(実績)
実質GDP	1.4	▲1.1	0.4	0.2	1.8	2.1	3.1	▲6.1	0.1	0.2	0.7	▲1.0	0.7	0.9	▲0.6
個人消費	1.4	▲3.4	1.9	▲0.3	1.3	2.4	6.5	▲13.3	1.2	0.6	0.8	▲2.9	▲0.4	0.9	▲1.7
住宅投資	6.6	▲4.7	0.0	3.6	4.7	6.3	5.8	▲20.9	▲12.2	▲1.0	3.5	▲11.7	2.5	2.7	▲6.0
設備投資	3.0	6.3	0.5	1.9	3.0	3.2	6.3	▲5.1	0.8	2.8	2.9	0.1	2.1	2.9	1.0
在庫投資 (寄与度)	(▲0.7)	(▲0.2)	(▲0.6)	(0.0)	(0.6)	(0.4)	(▲0.8)	(1.3)	(▲0.6)	(▲0.2)	(0.0)	(0.6)	(0.3)	(▲0.1)	(0.1)
政府消費	0.8	2.4	0.4	0.5	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.1	1.4	0.8	0.6
公共投資	▲8.1	▲12.7	▲0.8	2.6	4.9	3.2	1.8	0.9	0.0	▲11.2	▲8.7	▲2.6	▲2.1	0.3	▲1.2
純輸出 (寄与度)	(0.8)	(0.6)	(▲0.4)	(▲0.3)	(▲0.7)	(▲0.8)	(▲1.4)	(1.7)	(0.0)	(0.0)	(▲0.2)	(0.6)	(0.1)	(▲0.4)	(0.1)
輸出	10.9	▲3.3	1.3	2.9	3.1	3.4	2.9	2.8	3.1	3.3	3.3	7.8	0.3	2.4	3.0
輸入	5.2	▲5.6	3.7	4.9	6.9	7.6	10.2	▲5.8	2.8	3.0	4.1	3.3	▲0.1	4.4	2.8
名目GDP	3.5	2.1	1.1	1.2	0.9	1.6	2.0	1.1	0.9	0.8	0.3	1.5	2.2	1.4	0.8
GDPデフレーター	1.8	1.5	1.2	0.9	0.5	0.6	0.0	1.0	1.2	1.5	1.7	2.5	1.5	0.5	1.3
消費者物価 (除く生鮮)	▲0.1	0.0	▲0.1	0.3	0.6	0.8	1.3	2.4	2.5	2.6	2.6	2.8	0.0	0.7	2.5
(除く生鮮、消費税)	▲0.1	0.0	▲0.1	0.3	0.6	0.8	1.3	1.4	1.5	1.6	1.6	2.8	0.0	0.7	2.5
鉱工業生産	▲0.9	▲0.8	▲1.6	▲1.2	2.5	3.9	5.9	4.0	1.5	1.1	1.6	▲0.5	▲1.0	2.8	2.0
完全失業率 (%)	3.4	3.3	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.1	3.5	3.3	3.2	3.1
経常収支 (兆円)	4.87	3.45	5.96	3.31	4.06	2.03	4.21	2.25	3.39	1.73	4.18	8.72	18.00	13.61	11.56
対名目GDP比 (%)	4.0	2.7	4.8	2.6	3.3	1.5	3.3	1.8	2.7	1.3	3.3	1.8	3.6	2.7	2.3
円ドル相場 (円/ドル)	122	121	115	111	111	109	107	106	105	105	105	110	120	110	105
原油輸入価格 (ドル/バレル)	58	46	33	40	43	49	54	56	58	60	62	91	49	47	59

(資料)内閣府、総務省、経済産業省、財務省などを基に日本総研作成

(注1)個人消費について、2016年1~3月期の高い伸びと4~6月期の落ち込みは、「うるう年」要因によるもの。

(注2)2017年4月に消費税率引き上げ(8%→10%)とともに、「酒・外食を除く食品」を対象とした軽減税率が実施されると想定。

(注3)2016年4月28日弊社公表の2016年1~3月期1次QE予測は反映せず。

海外経済の前提

	(前年比、%)		
	2015年 (実績)	2016年 (予測)	2017年 (予測)
米国	2.4	1.8	2.4
ユーロ圏	1.6	1.7	1.7
中国	6.9	6.6	6.5

過去の実質GDP予測

	(前年比、%)			
	2014年度 (実績)	2015年度 (予測)	2016年度 (予測)	2017年度 (予測)
2月号	▲1.0	0.9	1.1	0.0
3月号	▲1.0	0.7	1.0	▲0.6
4月号	▲1.0	0.7	1.0	▲0.6

物価は当面伸び悩み、長期金利は0%近辺での推移が持続

◆物価は原油安の影響はく落ととも、徐々に伸びを高める見通し

コアCPIは当面伸び悩みが続く見込み。もっとも、原油価格の下げ止まりや内需の持ち直しなどを背景に、その後は緩やかながら騰勢を取り戻していく見通し。

◆日銀は現状の金融政策を維持も、経済・物価の見通しを下方修正

日銀は、4月27、28日の定例会合で、現状の金融政策の維持を決定。景気の前向きな循環が続いているなか、1月末に導入を決定したマイナス金利政策の影響を時間をかけて見極めたいことが背景。一方「経済・物価情勢の展望」では、新興国経済の減速や春闘での賃金の伸び鈍化などを受けて、2015年度および16年度の実質GDP、コアCPI前年比をそれぞれ下方修正。+2%の物価目標の達成時期も「2107年度前半頃」から「2017年度中」に先送り。今後を展望すると、日銀は物価目標の実現に向けた強い姿勢を示しており、経済・物価の見通しが一段と下振れれば、追加の金融緩和に踏み切る公算。

◆長期金利は日銀の中長期債買い入れが抑制に作用

長期金利は、日銀のマイナス金利導入などを受け、マイナス圏まで低下。先行きを展望すると、米国金利の上昇や消費者物価の上昇期待などが金利押し上げ要因になるとみられるものの、内外景気に不透明感が残るなか、日銀による中長期債の買い入れが需給面から金利抑制に作用。当面は0%近辺での推移が持続見通し。

日銀および民間エコノミストの景気・物価見通し(前年度比)

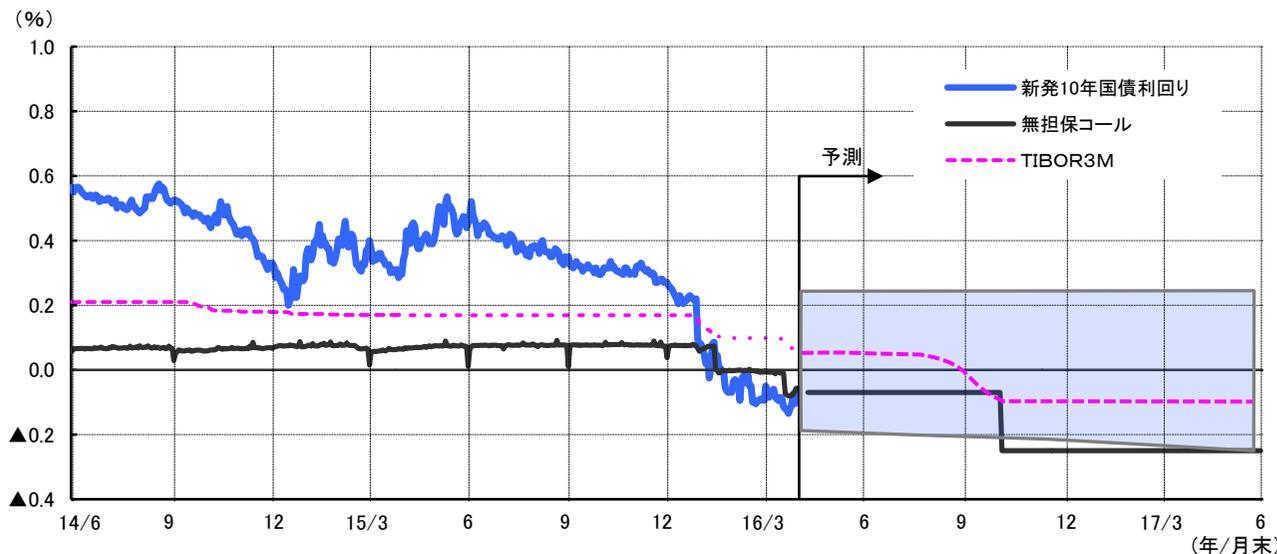
	実質GDP		消費者物価指数(除く生鮮食品)	
	日銀政策委員	民間エコノミスト	日銀政策委員	民間エコノミスト
2016年度	+0.8~+1.4 <+1.2>	+0.93 <+0.90>	+0.0~+0.8 <+0.5>	+0.22 <+0.20>
1月時点	+1.0~+1.7 <+1.5>	+1.44 <+1.40>	+0.2~+1.2 <+0.8>	+0.82 <+0.90>
2017年度	+0.0~+0.3 <+0.1>	▲0.01 <▲0.10>	+1.8~+3.0 <+2.7>	+1.91 <+1.90>
1月時点	+0.1~+0.5 <+0.3>	+0.06 <+0.00>	+2.0~+3.1 <+2.8>	+2.31 <+2.30>
2018年度	+0.6~+1.2 <+1.0>		+1.0~+2.1 <+1.9>	

(資料) 日本銀行、日本経済研究センターを基に日本総研作成

(注1) 民間エコノミストの予測はESPフォーキャスト(直近調査は4月)。直近調査で消費増税を予測に織り込むフォーキャスターは44名中40名。

(注2) <>内は中央値。(注3) 2017年度の消費税率引き上げによる消費者物価への直接の影響は、日銀・民間ともにおよそ1%程度との見方。

わが国主要金利の見通し



内外市場データ (月中平均)

	短期金利	ユーロ円 (TIBOR)			円・円スワップ			国債		プライムレート		為替相場		株式相場		米国市場				欧州市場	
	無担0/N (%)	3カ月 (%)	6か月 (%)	2年 (%)	5年 (%)	10年物 (%)	2年物 (%)	10年物 (%)	短期 (%)	長期 (%)	¥/\$ (NY終値)	¥/ユーロ (NY終値)	日経平均 株価 (円)	TOPIX (ポイント)	F F 0/N (%)	ユーロ3カ月 (%)	10年国債 (%)	NYダウ 工業株 (ドル)	ユーロ3カ月 (%)	10年国債 (%)	
12/8	0.10	0.33	0.43	0.30	0.37	0.81	0.10	0.80	1.48	1.25	78.68	97.59	8949.88	748.73	0.13	0.43	1.67	13134.90	0.33	1.42	
12/9	0.09	0.33	0.43	0.29	0.36	0.80	0.10	0.80	1.48	1.25	78.16	100.62	8948.59	742.65	0.14	0.39	1.70	13418.50	0.25	1.55	
12/10	0.10	0.33	0.43	0.26	0.33	0.78	0.10	0.77	1.48	1.25	79.01	102.47	8827.39	736.24	0.16	0.33	1.72	13380.65	0.21	1.52	
12/11	0.10	0.32	0.42	0.26	0.31	0.75	0.10	0.74	1.48	1.21	81.05	104.07	9059.86	753.21	0.16	0.31	1.65	12896.44	0.19	1.39	
12/12	0.10	0.32	0.41	0.22	0.28	0.77	0.10	0.74	1.48	1.20	83.91	110.16	9814.38	811.87	0.16	0.31	1.71	13144.18	0.19	1.36	
13/1	0.10	0.30	0.40	0.21	0.30	0.80	0.09	0.78	1.48	1.20	89.10	118.53	10750.85	901.20	0.14	0.30	1.88	13615.32	0.21	1.56	
13/2	0.10	0.28	0.38	0.21	0.29	0.79	0.04	0.75	1.48	1.16	93.13	124.24	11336.44	961.02	0.15	0.29	1.97	13967.33	0.22	1.60	
13/3	0.09	0.25	0.35	0.22	0.28	0.72	0.05	0.61	1.48	1.15	94.87	122.92	12244.03	1028.55	0.14	0.28	1.94	14418.26	0.21	1.41	
13/5	0.09	0.23	0.33	0.27	0.48	0.92	0.13	0.77	1.48	1.24	100.99	131.05	14532.41	1203.38	0.11	0.27	1.92	15172.18	0.20	1.37	
13/6	0.09	0.23	0.33	0.27	0.50	1.01	0.13	0.85	1.48	1.29	97.29	128.40	13106.62	1089.48	0.09	0.27	2.29	15035.75	0.21	1.62	
13/7	0.08	0.23	0.33	0.27	0.48	1.01	0.13	0.83	1.48	1.33	99.64	130.47	14317.54	1186.91	0.09	0.27	2.56	15390.21	0.22	1.63	
13/8	0.09	0.23	0.33	0.26	0.43	0.95	0.11	0.76	1.48	1.31	97.80	130.25	13726.66	1145.42	0.08	0.26	2.73	15195.35	0.23	1.80	
13/9	0.09	0.23	0.33	0.26	0.42	0.91	0.11	0.72	1.48	1.30	99.19	132.53	14372.12	1185.18	0.08	0.25	2.80	15269.84	0.22	1.93	
13/10	0.08	0.22	0.32	0.22	0.36	0.79	0.10	0.64	1.48	1.23	97.83	133.43	14329.02	1188.51	0.09	0.24	2.60	15289.29	0.23	1.81	
13/11	0.09	0.22	0.32	0.21	0.35	0.78	0.10	0.61	1.48	1.20	100.11	135.13	14931.74	1222.90	0.08	0.24	2.71	15870.83	0.22	1.72	
13/12	0.09	0.22	0.32	0.20	0.37	0.86	0.09	0.68	1.48	1.20	103.60	141.96	15655.23	1254.45	0.09	0.24	2.89	16095.77	0.27	1.85	
14/1	0.09	0.22	0.32	0.21	0.36	0.87	0.09	0.68	1.48	1.24	103.88	141.51	15578.28	1275.17	0.07	0.24	2.85	16243.72	0.29	1.80	
14/2	0.09	0.22	0.31	0.19	0.32	0.80	0.08	0.60	1.48	1.22	102.12	139.59	14617.57	1200.83	0.07	0.24	2.70	15958.44	0.29	1.66	
14/3	0.08	0.21	0.31	0.19	0.32	0.80	0.08	0.62	1.48	1.20	102.36	141.52	14694.83	1190.57	0.08	0.23	2.72	16308.63	0.31	1.59	
14/4	0.08	0.21	0.31	0.19	0.33	0.79	0.09	0.62	1.48	1.20	102.51	141.58	14475.33	1171.18	0.09	0.23	2.69	16399.50	0.33	1.53	
14/5	0.09	0.21	0.30	0.19	0.32	0.77	0.09	0.60	1.48	1.20	101.84	139.85	14343.14	1174.62	0.09	0.23	2.55	16567.25	0.33	1.40	
14/6	0.08	0.21	0.30	0.18	0.29	0.74	0.09	0.59	1.48	1.20	102.06	138.81	15131.80	1246.22	0.10	0.23	2.59	16843.75	0.24	1.35	
14/7	0.08	0.21	0.30	0.17	0.26	0.68	0.07	0.55	1.48	1.17	101.75	137.74	15379.29	1275.72	0.09	0.23	2.53	16988.26	0.21	1.20	
14/8	0.09	0.21	0.30	0.18	0.26	0.64	0.07	0.51	1.48	1.15	102.98	137.10	15358.70	1271.50	0.09	0.23	2.41	16775.15	0.19	1.02	
14/9	0.09	0.21	0.30	0.17	0.27	0.66	0.07	0.54	1.48	1.15	107.39	138.46	15948.47	1313.29	0.09	0.23	2.52	17098.13	0.10	1.00	
14/10	0.07	0.20	0.29	0.16	0.24	0.62	0.04	0.49	1.48	1.15	108.02	136.99	15394.11	1253.99	0.09	0.23	2.29	16701.87	0.08	0.88	
14/11	0.08	0.18	0.27	0.16	0.26	0.62	0.02	0.47	1.48	1.15	116.40	145.21	17179.03	1385.33	0.09	0.23	2.32	17648.98	0.08	0.79	
14/12	0.09	0.18	0.27	0.14	0.22	0.54	▲ 0.01	0.38	1.48	1.11	119.44	146.99	17541.69	1411.59	0.12	0.24	2.20	17754.24	0.08	0.64	
15/1	0.09	0.18	0.26	0.14	0.21	0.47	▲ 0.02	0.28	1.48	1.06	118.33	137.63	17274.40	1389.14	0.11	0.25	1.88	17542.25	0.06	0.45	
15/2	0.09	0.17	0.26	0.15	0.25	0.56	▲ 0.04	0.38	1.48	1.13	118.78	134.86	18053.20	1461.08	0.11	0.26	1.98	17945.41	0.05	0.35	
15/3	0.09	0.17	0.25	0.15	0.26	0.55	0.02	0.38	1.48	1.15	120.37	130.33	19197.57	1553.83	0.11	0.27	2.04	17931.75	0.03	0.26	
15/4	0.08	0.17	0.25	0.15	0.24	0.52	0.01	0.33	1.48	1.15	119.52	129.29	19767.92	1590.91	0.12	0.28	1.92	17970.51	0.01	0.16	
15/5	0.09	0.17	0.25	0.15	0.28	0.61	0.00	0.40	1.48	1.15	120.84	134.80	19974.19	1626.44	0.12	0.28	2.20	18124.71	▲ 0.01	0.58	
15/6	0.09	0.17	0.25	0.15	0.29	0.66	0.01	0.47	1.48	1.15	123.68	138.96	20403.84	1652.72	0.13	0.28	2.36	17927.22	▲ 0.01	0.83	
15/7	0.09	0.17	0.25	0.15	0.27	0.61	0.01	0.44	1.48	1.15	123.33	135.63	20372.58	1637.30	0.13	0.29	2.32	17795.02	▲ 0.02	0.76	
15/8	0.09	0.17	0.25	0.13	0.23	0.56	0.01	0.39	1.48	1.15	123.06	137.11	19919.09	1613.59	0.14	0.32	2.16	17061.59	▲ 0.03	0.67	
15/9	0.09	0.17	0.25	0.11	0.20	0.52	0.02	0.35	1.48	1.11	120.09	134.95	17944.22	1455.30	0.14	0.33	2.16	16339.95	▲ 0.04	0.68	
15/10	0.09	0.17	0.25	0.11	0.19	0.49	0.01	0.32	1.48	1.10	120.16	134.81	18374.11	1506.15	0.12	0.32	2.06	17182.28	▲ 0.05	0.55	
15/11	0.10	0.17	0.25	0.10	0.17	0.47	▲ 0.00	0.31	1.48	1.10	122.63	131.56	19581.77	1582.45	0.12	0.37	2.26	17723.77	▲ 0.09	0.55	
15/12	0.09	0.17	0.25	0.10	0.17	0.44	▲ 0.02	0.30	1.48	1.10	121.58	132.51	19202.58	1551.34	0.24	0.53	2.23	17542.85	▲ 0.13	0.60	
16/1	0.09	0.17	0.25	0.09	0.14	0.39	▲ 0.02	0.23	1.48	1.10	118.29	128.54	17302.30	1412.22	0.34	0.62	2.08	16305.25	▲ 0.15	0.51	
16/2	0.04	0.11	0.18	▲ 0.12	▲ 0.09	0.18	▲ 0.19	0.02	1.48	1.03	114.67	127.31	16346.96	1324.59	0.38	0.62	1.77	16299.90	▲ 0.18	0.23	
16/3	▲ 0.01	0.10	0.16	▲ 0.12	▲ 0.08	0.13	▲ 0.20	▲ 0.06	1.48	0.96	112.95	125.83	16897.34	1358.30	0.36	0.63	1.88	17302.14	▲ 0.23	0.22	
16/4	▲ 0.04	0.08	0.14	▲ 0.13	▲ 0.09	0.12	▲ 0.25	▲ 0.09	1.48	0.95	109.58	124.25	16543.47	1335.67	0.36	0.63	1.80	17844.37	▲ 0.25	0.18	